

平成 26 年度 事業シート

第5次廿日市市総合計画（後期基本計画）

基本目標 1 健やかな暮らしを支え、安全で快適に暮らせるはつかいち
政策目標 3 やさしい心で支え合い、健やかに暮らせるまちに
重点的取組 3 高齢者や障がいのある人など誰もが自分らしく地域で暮らせるよう支援する

担当課名	自治振興部 協働推進課		
予算科目	会計	01	一般会計
	款	02	総務費
	項	01	総務管理費
目	目	06	企画費

事業名	国際交流事業	事業開始年度	平成 5 年度
	多文化共生・外国人住民支援事業	根拠法令 条例 個別計画等	廿日市市国際化推進指針（平成25年1月策定）

1 事業の目的、意図

目的	【対象】誰の(何の)ために	【目指す姿・意図】(いつまでに、どういう状態に)
	市民（主に外国人市民）	多様な市民がつながり、自分らしく暮らせる交流・共生のまちを築く

2 事業の実施主体・関係団体・役割

実施主体	関係団体(パートナー)	事業実施に係る市役所(職員)の役割
市	・市国際交流協会 ・市民活動団体 ・地域コミュニティ	窓口相談員の配置。相談活動の支援。関係課等の関係機関との連絡調整。日本語教室や日本語支援者の育成委託事業。教室活動支援。日本語支援者養成講座の開催。日本語教室への案内・宣伝活動。

3 平成26年度 決算（活動実績・コスト情報・目標到達度）

実施した事業の内容（活動実績）

外国人市民に対する支援を中心とした多文化共生の地域づくりに取り組んだ。

- 多文化共生相談員設置事業
 - ・廿日市市で必要性の高い言語に対応した相談員を設置し外国人市民に対する窓口相談・手続きをサポートした。
 - 中国語・タガログ語・英語を母国語とする相談員を配置 2名
 - ・簡易な行政情報を多言語に翻訳した。
 - ・異文化理解・多文化共生の意識啓発及び多文化共生の地域づくりのための事業として、児童館・小学校での講座を実施した。
- 多文化共生推進事業
 - ・外国人市民を対象とした日本語教室を国際交流協会に委託し開催した。
 - 串戸市民センター：毎週火曜日、阿品市民センター：毎週木曜日、市民活動センター：毎週金曜日
 - 宮島杉之浦市民センター：月1回土曜日
 - ・日本語教室等で日本語支援活動を行うボランティアを養成するための講座を実施した。
- 多文化共生連絡協議会への参加
 - 広島県内における多文化共生の地域づくりを進めるため、県が設置している、ひろしま多文化共生連絡協議会に参加し、県内市町との情報交換を行った。

【歳出】

多文化共生相談員報酬等	2,114,436 円
多文化共生推進事業委託料	215,000 円
その他事務費（手数料、研修負担金）	6,000 円

コスト情報（円）

項 目		平成 25 年度決算	平成26年度決算①	①のうちH25から繰越	H26からH27へ繰越
財源内訳	直接事業費 A	2,209,350	2,335,436		
	国庫支出金				
	県支出金				
	借入金（市債）				
	その他(使用料など)				
	市（市税など）	2,209,350	2,335,436		
人件費（按分）B		0.30 人 2,545,800	0.30 人 2,572,200		
総事業費 (A+B)		4,755,150	4,907,636		
単位換算	① 人口（4月1日現在）	117,680 人	117,182 人		
	市民1人当たり	40	42		
	②				

到達目標

活動及び成果指標		単位	H25実績値	H26目標値	H26実績値	H27目標値	備考
活動成果	外国人市民の相談対応の実施	件数	99	80	108	100	
	日本語教室開催	教室数	2	3	4	4	
	日本語教室に通う外国人	人	8	13	10	15	1回の平均
	母国語以外で日本語が良く分かる人の割合	%				50	H22調査時42%